

しろや！ 広島城

Let's know Hiroshima Castle.

No.8

あなたの知らない「広島城」を探そう！

広島城ガイドツアー

①「探ろう！ 広島城」(大人向け)

②「たんけん！ 広島城」(子どもむけ) 参加者募集！！

広島城跡内と城跡周辺を巡る恒例のガイドツアーです。今年は子ども向けの「たんけん！ 広島城」だけでなく、大人向けの「探ろう！ 広島城」も行います。ぜひ参加して下さいね。

場 所	史跡広島城跡及びその周辺一帯
日 時	①平成18年7月15日(土)午前9時～正午 ②平成18年7月27日(木)午前9時～正午 (いずれも雨天の場合は翌日に順延、翌日も雨天の場合は中止)
対 象	①高校生以上(対象年齢でない参加者の子供および弟妹の同伴も可能です) ②小学校5・6年生～中学生(保護者、および対象年齢でない参加者の兄弟姉妹の同伴も可能です)
定 員	①②いずれも20名(同伴者は除いた人数です)
応募方法	①は7月2日(日)から7月13日(木)まで、②は7月16日(日)から7月25日(火)まで、いずれも午前9時～午後5時まで電話(082-221-7512)で受け付けます。先着順。
参 加 費	200円。同伴者については、お一人につき、50円(保険料)の負担になります。



！個人情報の取り扱いについて

今回の募集で得た個人情報は、当館にて適正に管理し、本事業の目的のみに使用します。また、終了後はすみやかに破棄します。

企画展のご案内

広島城をかく会 金賞作品展

平成18年4月16日(日)、「第39回広島城をかく会」(主催：財団法人広島市文化財団 広島城・中国新聞社)が開催されました。この会は、幼児から中学生を対象とした写生大会で、参加者は思い思いの方向から天守閣や二の丸の復元建物を描きました。

今回の企画展では、提出作品のうち、特別賞及び金賞を受賞した作品を展示します。子どもたちの目線で見えた広島城には新たな発見があるかもしれません。ぜひ足をお運びください。

会期：平成18年6月3日(土)～7月11日(火)

会場：広島城天守閣第四層



顔に歴史あり - 広島ゆかりの肖像画 -

広島城や郷土広島に関係する人物の肖像画を写真パネルなどで紹介します。

会期：平成18年7月15日(土)～9月3日(日)

会場：広島城天守閣第四層

展示ガイド

「顔に歴史あり - 広島ゆかりの肖像画 -」

開催中の日曜日 14:00～(15分程度)

学芸員が企画展の見どころを解説します。

天守閣前の「広場」と「玄関」のひみつ



(「しろうや!広島城」 7号より)

前号(7号)の「しろうや!広島城」で、広島城天守閣の玄関前にある「広場」(のような場所)は、実はもとは「広場」ではなかったということを紹介しました。では、この場所、一体何だったのでしょ

* * *

うか? なぜ「広場」があるのでしょうか? まずは「広場」から少し離れて天守閣を見てみましょう。天守閣の方から南に向かって「広場」の石垣が延びているのがわかります。南の端に近づくと、その石垣は東の方にかぎ状に曲がっています。ただの広場にしては、ちょっと変なカタチですね。

実は、このかぎ状に曲がったところには、元は小さな天守閣(小天守)が建っていたのです。



そして、その小天守は、長い渡櫓(わたりのりぐら) (廊下)で天守閣(大天守)と結ばれていました。けれども明治時代になってから、この

小天守と廊下は天守閣に繋がる廊下の北端だけを玄関として整備した他は、取り壊されてしまいました。昭和33年(1958)に原爆で失われた天守閣を再建したときも、同じ部分が玄関として整備され、小天守も廊下も再建されなかったため、その跡地が残されました。つまり、「広場」は小天守と廊下が建っていた場所だったので

す。むかしの天守閣は、さらに東側にも同じように小天守が廊下で結ばれていましたが、こちらも被爆前には廊下の一部が残っただけで、戦後もまったく再建されませんでした。もしも、南と東の小天守

や廊下が残っていたら、広島城天守閣の外観は長野県にある国宝の松本城に似た形だったと思われる。たいそう壮観(そうかん)だったことでしょう。しかし、今ほど天守閣に近づいて記念撮影をすることができなかったはず。石垣の下から撮影するしかないからです。天守閣をバックに記念撮影をすることがあったら、ついでに、階段の近くに立って、足元の地面をよくみてください。再建されなかった南の小天守の礎石が頭をのぞかせているのがわかります。

* * *

ところで、今のように天守閣南側が玄関として整備される前、つまり天守閣に廊下と小天守が結ばれていたときは、どこから中に入ったのでしょうか? そのヒントは今の玄関にあります。玄関の奥にある、天井まで届く石垣をご覧ください。



玄関奥の石垣

お客様の中には、展示用の作り物だと思っただ方もいらっしゃるくらいですが、この石垣はなんと天守閣を支える土台・天守台の一部なのです。でも、天守閣を支えているはず

の石垣が入口の中にあるのって、なんだか変だと思いませんか? みなさんが見ているところは、実は高さ12.4mもある天守台の上の方の石垣なのですから! でもこのことは、外に出て少し離れてみるとよくわかります。天守台の石垣の上端は、玄関のあ



南にのびていた廊下の端にあたる場所

る部分、つまり廊下や小天守台の上端よりも一段高くなっているのです。



天守台の石垣と廊下の石垣の段差がわかりますか？

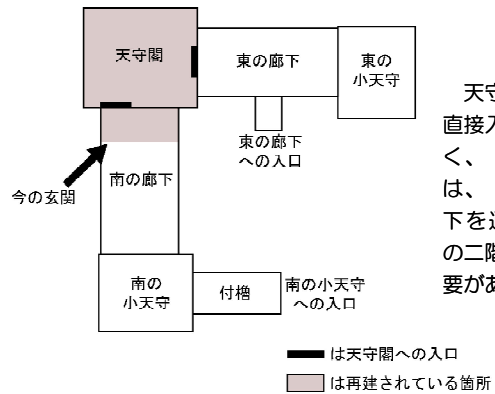
ここで、今の玄関がもとは天守閣と小天守を

結ぶ廊下の端っこだったということが重要になってきます。もし廊下をまっすぐ進んでも段差のある天守台に突き当たり、天守閣に入ることはできませんでした。ですから、天守閣とつながる場所だけ廊下は二階建てになっており、そこから中に入ったのです。

だから再建された天守閣も、中に入るためには二階建ての玄関を構える必要がありました。受付やその上の階のお城の模型が展示してあるところが玄関の

部分で、展示室に入るところからが天守閣の部分ということになります。(天守閣の中に入る場所としては昔と同じところですね。)

現在の「広場」と「玄関」には、広島城天守閣のもともとの姿を考えると、無視することのできないひみつが隠されているのです。(前野)



天守閣に外から直接入る入口はなく、中に入るには、南と東の廊下を通して、その二階に上がる必要がありました。

おしえて！ 広島城博士 6

Q. 広島城の天守閣は原爆で焼けなかったって本当？

A 本当じゃ。だけど、焼けずに壊れたんじゃ。

広島城には、原爆投下まで、毛利輝元築城当時の天守閣が残り、国宝じゃった。原爆の時、爆心地からだいたい1kmの近さということもあって、原爆による猛烈な風(爆風)によって北東側に崩れたんじゃ。山の上から沢山の木材が落ちてきたように、ドドドドドドと地面に響いて崩れたことが記録に残っておる(広島市役所編『広島原爆戦災史』第二巻 昭和46年〔1972〕発行による)。そのため、原爆の後もしばらく、柱の木とかが沢山残っていた。これらは築城当時の貴重な材木なので、現在なら復元するときの参考として残しておくと思うが、なにしろ原爆じゃ。すべてが破壊され、家もない、薪もない、そういった状態のなかで、広島城の材木は家の柱や、薪など人々が生きていく目的に使われていったんじゃ。今思うと残念じゃのう……

さ〜あ、何でも聞いてごじゃれ！ 今回の質問はこれ！



まあ、それはともかく、原爆でなくなった広島城天守閣は、原爆復興のシンボルとして、昭和33年(1958)に復元されたんじゃ。

そして、再来年は復興して50年の記念すべき年を迎えるのじゃ！ (玉置)



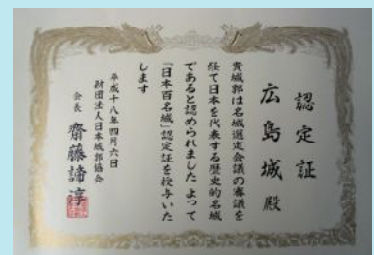
原爆の被害を受ける前の広島城
 絵葉書「兵営生活」(当館蔵)から

ピックアップ

広島城が百名城に

財団法人日本城郭協会は、平成18年2月13日に、「日本百名城」の発表を行いました。これは、名城探訪の手がかりとして、また、城郭が、青少年教育や生涯学習の場、こどもたちの総合的な学習の場として活用されることをねらって選定されたものだそうです。

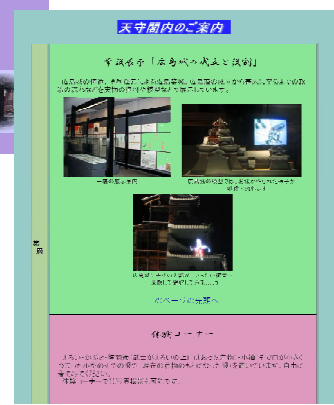
この百名城に広島城も選定され、4月に写真の認定証をいただきました。



ホームページ 開設しました！

4月1日に広島城の公式ホームページを開設しました。
 ご利用案内や広島城の歴史をはじめ、企画展・イベントなどの最新情報を発信していきます。また、学校団体などで来館する際の、減免手続きもわかりやすく載せていますのでご活用ください。
 さらに、この「しろうや！広島城」のバックナンバーをPDFファイルでダウンロードできるようにもなっています。(なんとカラー版！)
 ぜひアクセスしてください。なお、リンクはフリーです。

アクセスは <http://www.mogurin.or.jp/rijo.html>



私のおすすめスポット

なが〜い階段を登るとそこは・・・

広島城の最上階、五層は広島市の中心部を一望できる展望室になっています。お城の一番上から眺める外の景色、特に晴れた日は絶景！
 ところで、お城の高さってどれくらいあるのでしょうか(?!)。高さは天守台という石垣を含めると



約39m、ビルでいうと10~12階建てと同じくらいになります。
 天守閣のすぐ下を見てみると、たくさんの木々やお堀に囲まれているのがわかります。桜やサツキが咲く春は、花と新緑がとってもキレイ！ジツハ隠れた自然の宝庫らしい?!(☆0☆)

五層展望室からの眺め＼(^0^)/

そして、天気の良い日にはなんと!! 20km離れた宮島も見えるのです!(‘0’!!)

現在天守閣から周囲を見渡すと、グリーンアリーナやカープの本拠地の広島市民球場、バスセンターなど、いろいろな建物に囲まれています。広島城が築かれた400年くらい前は、今の平和大通りより南側は海だったんだって！海を目の前に建っていた昔の天守閣からの眺めはどうだったのかな…ジツハ殿様は普段は御殿という別の場所に住んでいたの、天守閣に登ることはめったになかったそうです(;;);



それなら、現在の広島城に来たら、展望室まで登ってみたいと損！(しかも今のお城なら記念メダルも買える！お土産におひとついかがですか?)
 現在の天守閣の展望室からはどんな景色が見えるかな？望遠鏡をのぞいて見てみてね!(^^)!(川橋)



編集・発行
 財団法人広島市文化財団 広島城
 〒730-0011
 広島市中区基町21-1
 電話：082-221-7512
 F A X：082-221-7519
 平成18年6月8日発行

広島城利用案内

開館時間：9：00~18：00
 (12月1日~2月末日までの平日は9：00~17：00)
 ※臨時に開館時間を延長します。平成18年8月5・6日と8月12~16日は9：00~19：00まで開館します。
 入館の受付は閉館の30分前まで
 入館料：大人360円(280円)
 小人180円(100円)
 ()内は30名以上の団体料金
 休館日：12月29日~1月2日
 ホームページ：<http://www.mogurin.or.jp/rijo.html>